

令和 7 年度 第 2 回 学校アンケートから見える  
西天満小学校教育の取り組みとこれからの課題

10月に行いました学校アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。結果を次の通りまとめましたのでご報告いたします。

児童アンケート	よくあてはまる あてはまる	あまりあてはまらない あてはまらない
学校に行くのは楽しい(学校では楽しいことがある)	95.0%	5.0%
健康に過ごすために、学校で必要に応じて手を洗っている	96.5%	3.5%
先生や友達にあいさつをしている	98.4%	1.6%
旗当番の方や地域の方にあいさつをしている	95.3%	4.7%
「早寝早起き朝ごはん」ができています	85.7%	14.3%
朝と夜、家で、はみがきをしている	95.3%	4.7%
いじめは、どんなことがあっても絶対にいけないことだと思う	98.8%	1.2%
自分には、よいところがある	93.8%	6.2%
学校へ行く準備(宿題や持ち物)を自分でしている	95.0%	5.0%
学校や学級のきまりを守って過ごしている	97.3%	2.7%
授業の内容が分かる	96.9%	3.1%
授業中、自分の考えを文字で書いたり、言葉で伝えたりして発表している	92.6%	7.4%
授業中、先生や友達の話の話をきいている	98.4%	1.6%
授業中、友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている	93.4%	6.6%
授業のはじめに「めあて(目標・ねらい・課題)」が示されている	98.1%	1.9%
授業の最後に学習の振り返りをよくしている	91.5%	8.5%
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き	89.9%	10.1%
1人1台パソコンを自分で使える(Teams、デジタルドリルなど)	98.1%	1.9%
家ではゲームをしたり、テレビや動画を見たりする時間が決まっている	75.2%	24.8%
地震のときに、どこに避難するか、おうちの人と話し合っている	67.8%	32.2%
西天満小学校や、自分の住んでいる地域のことが好き	96.9%	3.1%
読書(本を読むこと)が好き	88.8%	11.2%
外国語(英語)の勉強が好き	85.3%	14.7%
家ではインターネット(オンラインゲームを含める)を使うときに約束ごとがある(使わない人は回答しない)	83.7%	16.3%

## 児童アンケート結果より

学校生活については、「学校に行くのは楽しい」「先生や友達にあいさつをしている」の項目で、9割以上の児童が肯定的な回答をしました。多くの子どもたちが、学校を楽しい場所と感じ、友達や教職員との関係を大切にしている様子が結果として表れています。旗当番の方や地域の方へのあいさつもよくできており、様々な人とのあいさつを通じた地域や保護者の方との関わりも、子どもたちの成長につながっていることがわかりました。

生活習慣については、「朝と夜、家で、はみがきをしている」「学校へ行く準備(宿題や持ち物)を自分でしている」の項目で、9割以上の児童が肯定的な回答をしました。しかし、「『早寝早起き朝ごはん』ができていない」の項目では、肯定的な回答をした児童は 85.4%とやや低く、朝の過ごし方や生活リズムを整えることが課題としてあがっています。

学校での学習については、「授業の内容が分かる」「授業中、先生や友達の話をきいている」の項目では、いずれも 97%以上の児童が肯定的な回答をし、授業への意欲や理解度の高さが感じられました。しかし、自分の考えを発表したり、人前で意見を伝えたりすることには、まだ少し自信のない児童も見られました。今後も、授業中の話し合い活動や学習の振り返りなどを充実させ、自分の考えを安心して表現できる力を育てていきたいと思えます。

社会性や心の成長については、「いじめは、どんなことがあっても絶対にいけないことだと思う」の項目で、99%以上の児童が、「自分には、よいところがある」の項目でも9割以上の児童が肯定的な回答をしました。子どもたちの道徳的な考え方や自己肯定感が育っていることがわかる結果になりました。しかし、「地震のときに、どこに避難するか、おうちの人と話し合っている」の項目では、肯定的な回答をした児童は 72.2%とやや低く、家庭との防災に関する連携に課題が見られました。

ICT の利用については、「1人1台パソコンを自分で使える(Teams、デジタルドリルなど)」の項目では、98%以上の児童が肯定的な回答をし、学習環境の整備が進んでいることがわかりました。しかし、「家ではインターネット(オンラインゲームを含める)を使うときに約束事がある」(使わない人は回答しない)の項目では、肯定的な回答をした児童は 82.1%と、家庭ごとの違いも見られました。今後も、安心・安全な ICT の使い方を学んでいけるよう取り組んでまいります。ご家庭でも、子どもにとって有害なサイトが見られないようにフィルタリング設定をしていただき、各ご家庭に応じた約束ごとを決めていただきますようお願いいたします。これからインターネットの使用を考えておられる場合は、端末をお子様を使用させる前に、ご家庭内において約束ごとをお決めになり、お子様にお話になってから使用させるよう、お願いいたします。

保護者アンケート	よくあてはまる	あまりあてはまらない
	あてはまる	あてはまらない
子どもは、楽しく学校に通っている	91.1%	8.9%
子どもは、健康に過ごすため、必要に応じて手洗いをしている	95.8%	4.2%
子どもは、朝起きたときに、家族にあいさつをしている	91.7%	8.3%
子どもは、「早寝早起き朝ごはん」ができています	77.4%	22.6%
子どもは、朝・夜に歯磨きをしている	95.8%	4.2%
学校は、仲間づくりやいじめの未然防止・早期解決に取り組んでいる	95.2%	4.8%
保護者は、お子様のよいところをよくほめている	95.2%	4.8%
保護者は、子どもの学校へ行く準備（宿題や持ち物）が整っているかを確認している	71.4%	28.6%
保護者は、学校のきまり（4月手紙配付、ホームページ記載）を把握している	92.9%	7.1%
保護者は、家庭で子どもの宿題や自主学習を見て、学習の習熟度を把握している	86.3%	13.7%
子どもは、家庭で学校の出来事や友達関係のことを話している	85.7%	14.3%
学校は、教育活動の様子や情報をホームページやお手紙などで保護者に積極的に伝えている	95.8%	4.2%
保護者は、子どもの自立に向けて、過保護にならないように心がけている	79.8%	20.2%
保護者は、子どもの外出時に「だれと、どこで、何時まで」遊ぶのか把握している	98.8%	1.2%
家庭で、地震の際の避難場所など、非常変災時の安全確保について話し合っている	73.8%	26.2%
保護者は、子どもが交通事故にあわないよう、交通ルールを守るように指導（声かけ）している	99.4%	0.6%
子どもの家庭でのテレビや情報端末機器等におけるゲーム、インターネットの閲覧、動画の視聴などの時間を決めている	75.6%	24.4%
保護者は、子どもが使う情報端末機器（パソコン、スマートフォン、携帯電話等）で有害なサイトがみられないようにフィルタリングをかけている	80.4%	19.6%
保護者は、子どもだけで使用できるスマートフォンや携帯電話・キッズケータイを子どもに持たせている	48.2%	51.8%

## 保護者アンケート結果より

子どもの生活習慣については、「子どもは、楽しく学校に通っている」「子どもは、朝・夜に歯磨きをしている」「子どもは、健康に過ごすために、必要に応じて手洗いをしている」の項目で、いずれも9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。多くの子どもたちが、毎日を前向きに過ごしている様子や、ご家庭での健康意識の高さが結果として表れています。しかし、「子どもは、『早寝早起き朝ごはん』ができていない」の項目では、肯定的な回答が79.8%とやや低く、生活リズムの乱れが見られます。規則正しい生活習慣を続けていけるよう、ご家庭でもご指導ください。

学校との連携については、「学校は、仲間づくりやいじめの未然防止・早期解決に取り組んでいる」「学校は、教育活動の様子や情報をホームページやお手紙などで保護者に積極的に伝えている」の項目で、どちらも9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただき、学校へのご信頼や安心感を高くもっていただけていることがわかりました。今後も、学校行事や日々の学習の様子について、学校ホームページなどを通してお伝えし、より身近に学校を感じていただけるよう努めてまいります。

ご家庭でのお子様との関わりについては、「保護者は、お子様のよいところをよくほめている」の項目で、95.9%の保護者の方から肯定的な回答をいただき、温かく子どもたちを支えてくださっているご家庭が多いことがうかがえました。しかし、「保護者は、家庭で子どもの宿題や自主学習を見て、学習の習熟度を把握している」「保護者は、子どもの自立に向けて、過保護にならないように心がけている」の項目では、「よくあてはまる」の割合がやや低く、子どもの自立をどのように支えるかを工夫されているご家庭もあることがうかがえます。

安全や防災に関する項目では、「保護者は、子どもの外出時に『だれと、どこで、何時まで』遊ぶのか把握している」の項目では、97.1%の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。しかし、「子どもの家庭でのテレビや情報端末機器等におけるゲーム、インターネット閲覧、動画の視聴などの時間を決めている」や「家庭で、地震の際の避難場所など、非常変災時の安全確保について話し合っている」の項目では、肯定的な回答をされた保護者の方は約75%と、やや低めの結果でした。情報機器の使い方や災害時の対応は、子どもたちの安全を守るうえで欠かせません。この機会に、お子様と、ゲームやインターネットの時間についてや、非常時の避難の仕方などについてお話しいただき、以降も適宜確認をしてくださいますようお願いいたします。

情報モラルに関しては、近年、SNSが関係する児童間のトラブルも頻発するようになってきました。スマートフォンや携帯電話の管理は、必ず保護者の目の届く範囲でお願いいたします。平成21年4月に施行された「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」では、保護者の責務として、「18歳未満の子どもにインターネットを使わせる場合には、利用状況を適切に把握し、フィルタリングソフトウェアの利用、またはその他の方法によりインターネットの利用を適切に管理する必要がある」と定められています。SNSアプリには年齢制限も設けられています。LINEは12歳以上（利用推奨年齢）、TikTok、Instagram、X（旧Twitter）、Facebookは13歳以上となっています。また、Youtubeは13歳未満の児童は保護者の同意なしに利用することはできないとされています。子どもたちの健やかな成長のためにも、今一度ご確認のほどよろしくお願いいたします。